

教科名	国語	科目	国語演習	週授業時間	2時間
-----	----	----	------	-------	-----

### 1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新しい国語2」（東京書籍）

副教材：「新しい国語 新出漢字の学習2」（東京書籍）

：「国語の学習2」（東京書籍）

：「国語便覧 千葉県版（デジタル版）」（浜島書店）※1年次に配付済

：「つまずかない！文法の学習」（新学社）※1年次に配付済

問題集：「錬成テキスト 中2国語」（育伸社）

：「中学10分間復習ドリル 国語読解2年」（受験研究社）

### 2. 授業の目標および内容

日常なにげなく使っている言葉に対する理解を深め、それらを上手く活用するための方法を学びます。加えて、「話す・聞く」「書く」を中心とした様々な言語活動を行い、的確に他者の考えを読み取り、また、自身の主張を理解してもらうための力を高めます。

### 3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月

※内容・難易度について

①定期試験：教科書・副教材・問題集・プリントなどで、問題を作成します。

### 4. 課題・補習について

必要に応じて課題を出したり、補習をおこなったりします。

### 5. 評価の視点

定期試験を元に、小テスト、提出物、言語活動の取り組みなどを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	<p>①②書写</p> <p>①表現と文法</p> <p>①敬語</p> <p>②敬語</p> <p>②他教科で学ぶ漢字(1)</p>	<p>○1学期のみ週1時間「書写」の授業を行う。文字の成り立ちと移り変わりについて知り、文字文化への関心を高める。また、今年度は新しく行書の書き方を学ぶ。</p> <p>○「つまづかない！ 文法の学習」をベースに、日本語として適切な表現の仕方や原稿用紙の使い方等を習得する。</p> <p>○敬語の働きや使い方について理解し、話や文章の中で適切に使用できるようにする。</p> <p>○他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>*教科書の漢字を中心に小テストを実施する。</p>
2	<p>①用言の活用</p> <p>①漢字の意味</p> <p>①根拠を吟味して書こう(意見文)</p> <p>①助詞</p> <p>②ビブリオバトル</p> <p>②同訓異字</p>	<p>○用言(動詞・形容詞・形容動詞)のそれぞれの特徴を再確認し、活用についての正しい知識を身につける。</p> <p>○漢字の意味を理解して、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>○自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠の適切さについて吟味し、文章の構成を工夫しながら分かりやすく説得力のある意見文を書く。</p> <p>○助詞の働きについて理解し、正しく使えるようにする。</p> <p>○愛読書の理解を深め、他者に紹介する準備を進める。話す内容や順序を整理し、聞き手にとってわかりやすく説得力のある構成を考え、実践する。</p> <p>○同訓異字について理解し、話や文章の中で適切に使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p>	<p>*教科書の漢字を中心に小テストを実施する。</p> <p>*適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。</p>
3	<p>①依頼状やお礼状を書こう</p> <p>①助動詞</p> <p>①同音異義語</p> <p>①他教科で学ぶ漢字(2)</p>	<p>○読み手を意識して、的確な表現になるように文章を推敲する。</p> <p>○助動詞の働きについて理解し、正しく使えるようにする。</p> <p>○同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>○他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>*教科書の漢字を中心に小テストを実施する。</p> <p>*適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。</p>